



石原都知事辞職

国政復帰の意向

4期目途中 新党結成を表明

東京都の石原慎太郎知事(80)は25日、都庁で緊急記者会見し、知事を辞職し、国政復帰する意向を表明した。現在、4期

目の途中だった。石原慎太郎都知事は「新党をつくって仲間と一緒に国会に復帰してやろうと思っている」と述べた。

石原知事は「太陽の季節」で芥川賞を受賞。1968年、参院全国区でトップ当選。その後、衆

院にくら替えした。95年に議員辞職し、99年の都知事選に出馬し初当選。2011年4月に4選を果たした。デー

ゼル車の排ガス規制など新しい政策を進める一方、05年に開業した新銀行東京がずさん融資のため経営難に陥り、都の追加出資が批判を浴びた。

4期目に入り、「たちがあがれ日本」の平沼赳夫代表らとの間で石原氏を中心とした新党構想が浮上。知事自身も今年1月以降、第三極の必要性や橋下徹大阪市長との連携をおこなっていた。

ただ4月には新党構想を「白紙に戻す」と発言。沖縄県・尖閣諸島を都が購入する計画の実現に力を注いだ。しかし尖閣諸島は9月に国有化され、10月に入ってから再び、新党に前向きな発言をしていた。

長男は自民党前幹事長の仲晃氏、次男はタレントの良純氏。



辞任表明の記者会見をする東京都の石原知事
=25日午後、東京都庁